



ケータイIP

2012年(平成24年) 11月11日発行

主な内容

- 1~6…特集「いじめ」から子どもたちを守るために一。
- 7…伊賀地域の「高等学校活性化」についての説明会
- 8…12月の相談、まちづくり仕掛け人

発行/名張市企画財政部広報対話室 〒518-0492 名張市鴻之台1-1 ☎ 0595-63-7402 ✉ pr@city.nabari.mie.jp 🌐 http://www.city.nabari.lg.jp



## あなたは「いじめ」をどう考えますか？

※「広報なばりメールサポーター」アンケートから抜粋  
全てのアンケート結果は市ホームページでも公開中

- いじめに気付くのが遅れ、娘が1ヵ月ほど学校を休みました。友達同士仲良くしているように見えていても、先生には注意深く見守ってほしいですね。今はカウンセラーや先生、家族と話し合いを重ね、学校へ通えるようになりました。  
—40歳代女性
- 私はクラス全員から無視をされました。先生に相談すると、クラスで報告されてしまい、さらにいじめがひどくなりました。相談された側の意識も大切です。  
—20歳代女性
- 素直に親に相談できたことでいじめが解決しました。親子、家族のコミュニケーションが大切だと思います。  
—30歳代男性
- 学校での子どもの人間関係も複雑で大変。いじめまでもいなくても生きにくい世の中になってきていると思います。家族ができる限りその子を理解し、受け入れて、守ってあげることが大切だと感じます。  
—40歳代女性
- 家庭、学校、担任の先生、それぞれが見て見ぬふりをせず、子どもたちに声をかけるようにしたいものです。  
—50歳代男性

▶6ページまで続く

## 特集

# 「いじめ」から子どもたちを守るために一。

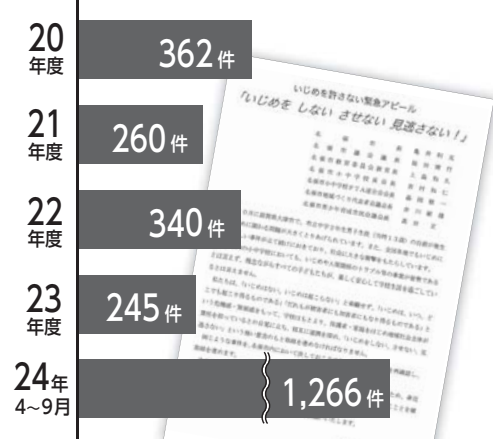
全国で「いじめ」による痛ましい事件が後を絶ちません。市や教育委員会は、保護者や地域の皆さんとともに、7月、「いじめを許さない緊急アピール」を発しました。今号ではアピールの内容を振り返りながら、「いじめ」から子どもたちを守るために、学校や、家庭、地域ではいま何ができるのかを考えます。

問 学校教育室(学校教育に関すること) ☎ 63・7882  
子ども家庭室(子ども事例に関すること) ☎ 63・7594



## ●三重県内のいじめ認知件数

※小中学校、高校、特別支援学校の合計



● 20～23年度は年間を通じた認知件数。24年度は4～9月上旬の認知件数(速報値) 三重県教育委員会調べ

受け手が苦痛に感じればそれは「いじめ」

滋賀県大津市をはじめ、全国でいじめによる痛ましい事件が立て続けに起きています。

冷やかしの悪口、仲間はずれ、無視、暴力、金品を隠す、盗む…。近年は、インターネットや電子メールを使ったいじめもあります。そんな多様化しているいじめですが、文部科学省は、いじめを次のように定義しています。

「一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」

すなわち、受け手が「こんなことされて嫌だな」「言われて辛いな」と苦痛に感じれば、それは「いじめ」なのです。

9月上旬に実施された調査によると、県内のいじめ認知件数は1266件。平成23年度の認知件数の約5倍にも上りました(市内のいじめ認知件数は22件。前年度比11件増)。これは、社会全体でいじめに対する意識が高まっている

中、これまで被害を言い出せなかったり、「これくらいは大丈夫」と言い聞かせていたりした子どもたちが、「これはいじめなんだ」「辛い思いをしているんだ」と、名乗り出た結果なのかもしれません。

**いじめを許さない緊急アピール**

学校では、いじめの早期発見や児童生徒が相談しやすい環境づくりなどに積極的に取り組んでいます。しかし、学校の取組みだけでは限界があります。

7月には、市や教育委員会、PTA連合会、地域づくり代表者会議などが、連名で「いじめを許さない緊急アピール」を発し、地域社会全体で「いじめをしない、させない、見逃さない」という強い意志で取り組んでいこうと呼びかけました(チラシを児童生徒の保護者に配布。地域で回覧。市ホームページにも掲載)。学校や家庭、地域など、さまざまな場面で、「いじめ」から子どもたちを守るために、何ができるのかを考え、行動に移していく必要があるのです。

●県内の調査(平成24年9月)で、最も多かったいじめの態様は「冷やかしの悪口や脅し文句、嫌なことを言われる」で915件。次いで、「軽くぶつかられたり、遊ぶふりをして叩かれたり、蹴られたりする」が336件、「仲間はずれ、集団による無視をされる」が300件でした。